

データ・調査・評価による学生の学修実態の理解 I

【2013 年度全体テーマ】

学生が『何をどのようにどの程度学べているか』を知るには？ —IR 実践から見えてくるもの

大学で学ぶ学生たちが、何をどのように学ぶことができているのか、学修上どのようなニーズを持っているのか、卒業時点でどのような学修成果を挙げることができているのか、といったことについて、それぞれの大学が十分に把握することは、カリキュラムの持続的な改善やニーズに基づく FD を進めていくために重要なことです。これらをデータに基づいて把握するための仕組みとして、昨今注目されているのが IR (Institutional Research) です。本学でも全学評価委員会などで議論が行われつつあります。そこで今年度から 3 年間の FD 研究会を、データや評価に基づく学生の学修実態の把握どのように進めていくかを探る連続企画として設定することにしました。初年となる今年度は、「IR とは何か」に関する理解を共有するとともに、市大・府大の IR 的実践の成果や課題についての情報交換を踏まえて、本学における IR 実践のあり方等について議論を行いたいと思います。

日時: 2013 年 11 月 1 日(金) 午後 1 時 30 分～5 時 (終了後、懇談会)

場所: 大阪市立大学 杉本キャンパス 学術情報総合センター10 階会議室

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 13:00 | 受付開始 |
| 13:30 | 開会挨拶 (桐山孝信 教育担当副学長) |
| 13:40~14:40 | 基調講演
「大学教育の継続的な改善に向けた IR 機能の活用」立命館大学 鳥居朋子教授 |
| 14:40~14:50 | 質疑 |
| 14:50~15:00 | 休憩 |
| 15:00~16:00 | 報告「大阪府立大学における IR 的実践について」
大阪府立大学 高橋哲也教授・学長補佐
報告「大阪市立大学における IR 的実践—新大学での教育にむけて」
大学教育研究センター 大久保敦教授 |
| 16:00~16:55 | 全体討論
コメント「法人としての IR の活用について」大学改革室 赤井正文次長 |
| 17:00 | 閉会挨拶 (多治見左近 全学評価委員会副委員長) |

司会: 永村一雄(生活科学研究科)・西垣順子(大学教育研究センター)

※ 閉会後に懇談会(無料)を予定しております。お時間の許す方は、是非ともご参加ください。
皆さまには、万障お繰り合わせの上、宜しくご参集下さいますようお願い申し上げます。

主催・連絡先: 大阪市立大学 大学教育研究センター

申し込み先メールアドレス: center@rdhe.osaka-cu.ac.jp

Fax: 06-6605-2137

共催: 全学評価委員会

全体企画: 西垣順子 (大学教育研究センター)